

立錐鹿島神社

第17回

夏まつり

—新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年も止む無く縮小しての開催と致します—

7月30日土曜日

雨天の場合も
執り行ないます

◎山倉神社例大祭 / 14:00～

◎夏越大祓(茅の輪神事) / 15:00～

◎茅の輪くぐり / 13:00～17:00

※昨年の茅の輪くぐりは、控えさせていただきましたが、本年は参拝できることとします。

※「無病息災茅の輪お守り・クリアファイル」を差し上げます。

◎えんにち広場 /
14:00より開始

- 金魚すくい ●輪投げ
- スーパーボールすくい

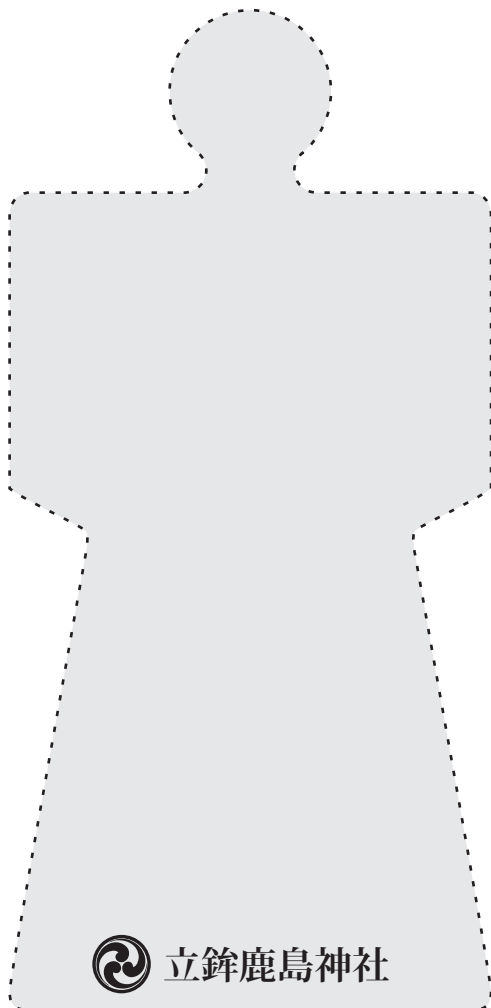
※えんにち広場は、規模を縮小します。
(ゲームのみ実施し、飲食はしません)

雨天および感染状況によっては
えんにち広場は中止となる場合があります。
ご了承くださいませ。

★感染対策の徹底について★

- ・マスクの着用・手指の消毒
- ・大声の禁止
- ・ソーシャルディスタンスの確保
に、ご協力をお願い申し上げます。

←※人形は、当日持参して下さい。



きりとりせん

茅の輪(ちのわ)くぐりは、疫病退散の祈願です！

知らず知らずに犯した罪や過ち、心身の穢れを祓い清める神事を「大祓(おおばらえ)」といいます。

大祓は年二回行われ、夏に行うのを「夏越祓(なごしのはらえ)」または「水無月祓(みなづきのはらえ)」といいます。

夏越の大祓では、茅の輪くぐりが広く行われています。

これは、神話に基づくもので、蘇民将来が無塔神に一夜の宿を提供したところ「もしも後世に疫病があったならば、蘇民将来の子孫であるといって茅の輪を腰の上につけなさい」と告げられ、疫病を免れることができたことに由来しています。

大祓では「人形(ひとがた)」を用いて、自分の罪・穢れを移してわが身の代わりに清めてもらい、無病息災を願います。

10社の神玉を集め大願成就を！

本年よりいわき市内の神社10社にて、いわき神社巡拝「神玉(かみたま)」の頒布が行われております。巡拝とは「神社を巡り参拝する事により願ひ事が研ぎ澄まされ、進むべき道が開けていく」という平安時代からの風習です。昔の人々は、巡拝の道中で食事や観光を楽しみ、その地域の文化に触れたと言われています。

「いわき神玉巡拝」は各神社毎に異なる社紋等が入った神玉を受け、10社の神玉を集める事で参拝者の大願が成就する様にご祈願をしています。また、神玉を通す紐も神社毎に色が異なっており、お好みの色の紐を選ぶ事ができるようになっています。

●「神玉」は1個の初穂料が500円

●神玉を結ぶ「神紐」は300円

神社で受けた神玉は「神紐」で繋げることができますので集め繋げて一つの御守りにしましょう。

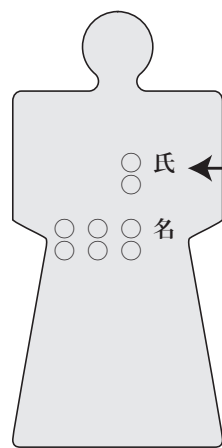
参画神社

①四倉諏訪神社②立錐鹿島神社③三島八幡神社④温泉神社⑤金刀比羅神社⑥小名浜諏訪神社⑦諏訪八幡神社⑧植田八幡神社⑨真弓神社⑩國魂神社

大祓式人形(ひとがた)

左の人形に家族の氏名を書き総代にお渡しください。
「茅の輪をくぐり」と「お祓い」は総代が代参いたします。
無病息災茅の輪御守・クリアファイルを差し上げます。

初穂料 500円



人形にご家族のお名前をお書きください。

●お願い

茅の輪くぐりをご希望の方は、混雑を避けるため13時から17時の間にお問い合わせ申し上げます。